



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社 エヌアイテイ 上場取引所 東
 コード番号 2349 URL <http://www.nid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 馬場 常雄 TEL 03 (6221) 6811
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,941	4.7	1,200	△0.7	1,314	1.6	884	1.9
29年3月期第3四半期	12,364	0.5	1,209	19.7	1,294	12.8	867	26.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 939 (△0.6%) 29年3月期第3四半期 945百万円 (57.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	233.67	—
29年3月期第3四半期	229.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	16,158	10,973	67.9	2,898.98
29年3月期	15,569	10,253	65.9	2,708.77

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,973百万円 29年3月期 10,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	58.00	58.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	1.8	1,620	△11.7	1,720	△12.6	1,190	△8.8	314.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	4,369,830株	29年3月期	4,369,830株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	584,501株	29年3月期	584,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,785,353株	29年3月期3Q	3,785,409株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、個人消費・設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米国政権の政策動向や北朝鮮の政治情勢への懸念等により、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する情報サービス業界においては、企業のIT投資は増加傾向で推移しました。一方で、技術者の不足感は強く、人材確保の面では厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、前連結会計年度より再編されたエンベデッドソリューション事業、ICTイノベーション事業、フィナンシャルシステム事業、ネットワークソリューション事業において、それぞれの事業の強みを活かしつつITの進化や市場の変化に柔軟に対応し成長が見込まれる分野に注力することで持続的成長と拡大を目指しております。

このような取組みの結果、売上面では、ネットワークソリューション事業が若干の減収となったものの、その他の4事業においては増収を確保し、売上高は12,941百万円(対前年同四半期比4.7%増)となりました。利益面では、環境変化に備えた先行投資による販管費増があったこと等により、営業利益1,200百万円(同0.7%減)、経常利益1,314百万円(同1.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は884百万円(同1.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①エンベデッドソリューション事業

当事業では、カーエレクトロニクス、FA・制御装置等の分野の売上が増加しました。この結果、売上高は1,983百万円(対前年同四半期比0.6%増)となりました。一方で不採算案件の影響により、営業利益は28百万円(同80.4%減)となりました。

②ICTイノベーション事業

当事業では、社会インフラ、企業システム、ホームエレクトロニクス等の分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は2,829百万円(同15.2%増)、営業利益240百万円(同11.7%増)となりました。

③フィナンシャルシステム事業

当事業では、生保・損保分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は3,172百万円(同6.2%増)、営業利益528百万円(同26.6%増)となりました。

④ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸、官公庁・団体等の分野の売上が増加したものの、金融・保険、製造等の分野の売上が減少しました。この結果、売上高は3,724百万円(同1.4%減)、営業利益257百万円(同22.8%減)となりました。

⑤その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しておりますが、それぞれの事業で安定した売上を確保しました。この結果、売上高は1,231百万円(同5.0%増)、営業利益は91百万円(同39.3%増)となりました。

（2）財政状態の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ305百万円増加し11,690百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ284百万円増加し4,468百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ589百万円増加し、16,158百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金及び未払金並びに預り金の増加、未払法人税等及び賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し2,252百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し2,932百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ130百万円減少し、5,185百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ719百万円増加し、10,973百万円となりました。

この結果、自己資本比率は67.9%（前連結会計年度末は65.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,996,807	8,063,830
受取手形及び売掛金	3,526,942	2,549,060
有価証券	207,298	200,000
仕掛品	166,296	466,263
繰延税金資産	348,107	349,782
その他	139,305	61,395
流動資産合計	11,384,757	11,690,332
固定資産		
有形固定資産	275,130	303,522
無形固定資産	119,793	97,354
投資その他の資産		
投資有価証券	2,765,807	3,072,208
繰延税金資産	599,101	574,448
差入保証金	314,893	305,927
その他	109,668	115,115
投資その他の資産合計	3,789,470	4,067,700
固定資産合計	4,184,394	4,468,577
資産合計	15,569,152	16,158,909
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,984	426,187
短期借入金	—	360,000
未払金	299,094	437,831
未払法人税等	409,367	116,003
預り金	66,711	232,291
賞与引当金	882,485	451,619
資産除去債務	2,673	—
その他	328,839	228,880
流動負債合計	2,431,155	2,252,813
固定負債		
退職給付に係る負債	2,252,030	2,303,846
役員退職慰労引当金	570,075	588,325
資産除去債務	39,783	40,349
その他	22,430	—
固定負債合計	2,884,319	2,932,520
負債合計	5,315,474	5,185,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	9,913,319	10,578,281
自己株式	△1,226,945	△1,227,075
株主資本合計	9,828,401	10,493,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,776	469,258
退職給付に係る調整累計額	10,500	11,083
その他の包括利益累計額合計	425,276	480,341
純資産合計	10,253,678	10,973,575
負債純資産合計	15,569,152	16,158,909

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,364,065	12,941,321
売上原価	9,772,992	10,237,785
売上総利益	2,591,073	2,703,535
販売費及び一般管理費	1,381,165	1,502,690
営業利益	1,209,907	1,200,844
営業外収益		
受取利息	2,527	2,555
受取配当金	62,246	67,547
投資有価証券売却益	—	12,320
投資事業組合運用益	—	14,882
その他	24,872	21,901
営業外収益合計	89,646	119,207
営業外費用		
支払利息	1,262	1,280
投資事業組合管理料	974	2,561
租税公課	2,550	700
その他	111	565
営業外費用合計	4,898	5,106
経常利益	1,294,655	1,314,945
特別利益		
固定資産売却益	1,178	—
投資有価証券売却益	—	433
特別利益合計	1,178	433
特別損失		
固定資産売却損	—	178
固定資産除却損	801	1,022
投資有価証券評価損	7,196	—
和解金	—	2,264
特別損失合計	7,997	3,465
税金等調整前四半期純利益	1,287,836	1,311,913
法人税等	420,097	427,400
四半期純利益	867,739	884,513
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	867,739	884,513
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,951	54,482
退職給付に係る調整額	△636	582
その他の包括利益合計	77,315	55,065
四半期包括利益	945,054	939,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945,054	939,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	1,971,966	2,455,012	2,988,361	3,775,763	1,172,961	12,364,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	206,621	59,065	179,576	46,908	552,903	1,045,075
計	2,178,588	2,514,078	3,167,937	3,822,672	1,725,864	13,409,141
セグメント利益	143,808	215,458	417,562	333,093	65,732	1,175,655

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,175,655
セグメント間取引消去	3,914
全社費用（注）	33,296
その他	△2,957
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,209,907

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	エンベデッドソリューション事業	ICTイノベーション事業	フィナンシャルシステム事業	ネットワークソリューション事業	その他	
売上高						
外部顧客への売上高	1,983,813	2,829,248	3,172,598	3,724,591	1,231,069	12,941,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	134,326	67,138	203,229	37,205	563,251	1,005,151
計	2,118,140	2,896,387	3,375,827	3,761,797	1,794,320	13,946,473
セグメント利益	28,153	240,735	528,455	257,078	91,594	1,146,017

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,146,017
セグメント間取引消去	3,973
全社費用(注)	55,728
その他	△4,875
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,200,844

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。